

1. 学習内容とソフト該当項目

わり算 (3人で分ける／みてみよう！・問題)

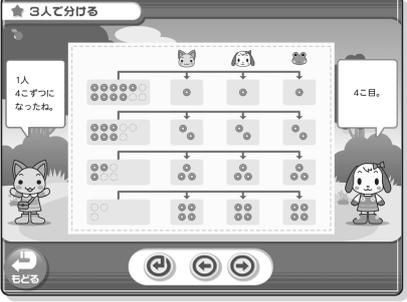
2. 本時の目標

- ・等分除の場合で、わり算の式に表したり、わり算の式、ことば、記号の意味が分かる。
- ・わり算の答えは、かけ算の九九を用いて見つけられることが分かる。

3. 本時の展開

「わかる!算数」をこの学習で使うポイント

- ・ライチやアップルと一緒にわり算の仕方を楽しく学ぶことができる。
- ・問題を反復練習することにより、九九を用いてわり算を解くことができるようになる。

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
つかむ	  <p>『わかる!算数』の『3人で分ける』をこの場面まで提示する。(説明の途中で、もどるボタンを使う。)</p>	<p>「今日からわり算の学習を始めます。みなさんは、わり算ってどうすることか知っていますか?」</p> <p>「わり算は、みなさんの家や学校でたくさん使われているのですよ。とても役に立つ計算ですから、しっかり学習していきましょうね。」</p> <p>「それでは、先生と一緒に『わかる!算数』で、わり算はどんな時に使うものか見ていきましょうね。」</p> <p>「ライチとアップルは、どんなことをしようとしていますか?」</p>	<p>「わり算ってなんだろう?」</p> <p>「3年生になって初めて学習することだから、しっかり学習しなくちゃ。」</p> <p>「僕の家でもわり算を使っているのかな。どんな時に使うのかな。」</p> <p>「とても役に立つのなら、早くやりたいなあ。」</p> <p>「パソコンで学習するのって、楽しいよね。今度はどんなお話なんだろう。」</p> <p>「おやつのだーナツを3人で分けているね。ライチが5個でアップルが3個、ライチずるいなあ。」</p> <p>「わり算って、ものを分けるときに使うんだね。でも、どうやって計算するんだろう?」</p>
見通しをもつ1	 	<p>「では、これからライチたちがどのようにしておやつを分けるのか、パソコンを使って学習していきましょう。」</p> <p>「自分たちのパソコンで、『わり算』をクリックして、『3人で分ける』の『みてみよう!』をクリックしてね。」</p> <p>「アップルの説明をしっかりと聞いて、わり算の式の表し方や読み方・記号の書き方を覚えてくださいね。」</p> <p>「ワークシートを配ります。先生が前に出しておく画面まで見たら、ワークシートに記号や言葉を書き入れてください。」</p>	<p>「よし、パソコンでしっかり学習するぞ。」</p> <p>「パソコンって、分かりやすく説明してくれるから、私は大好きよ。」</p> <p>「やっぱり、1人ドーナツ4個ずつになるんだ。こうして、1つずつ配っていくといいんだね。」</p> <p>「式は12わる3は4と書くんだね。わるという記号は、よこ棒を真ん中にまっすぐに書いて、上と下に●だね。」</p>



見通しをもつ1

★3人で分ける

なるほど!

12 ÷ 3 = 4

ぜんぶの数 12  
↓  
わられる数

人数 3  
↓  
わる数

1人分の数  
↓  
答え 4こ

まとめるとこうなるわね。

「わり算では、12のことを「わられる数」、3のことを「わる数」と言いますよ。しっかり覚えましょう。」

「では、自分のワークシートに書き込んでください。記号の書き方にも注意しましょう。」

「じゃあ、わり算は[わられる数わる、わる数は答え]と覚えていけばいいんだね。」

「言葉で覚えるのって、ややこしいなあ。」

左の画面を見ながら、児童にワークシートに記入させることにより、わり算の立式の仕方や意味を定着させることができる。



見通しをもつ2

★3人で分ける

あつ、ぜんぶの数が16だから、これだね!

2 × 4 = 8

3 × 4 = 12

4 × 4 = 16

わり算の式 16 ÷ 4 = 4

1人分の数 人数 ぜんぶの数

「ワークシートに書けた人から、わり算の続きを見てくださいね。」

「わり算の答えの見つけ方はどうすればいいのだろう。」

★3人で分ける

なるほど!

16 ÷ 4 の答えは、  
×4=16 の に  
あてはまる数です。

今の考え方をまとめるとこうなるわね。

16 ÷ 4 の答えは、  
4のだんの九九を  
使ってもとめる  
ことができます。

16 ÷ 4 = 4

四二が8  
四三が12  
四四が16  
16 ÷ 4 = 4

「答えの見つけ方が分かりましたか? もどるボタンを使ってもう一度見てみてもいいですよ。」

「わられる数が大きな数字だと、1ずつ配って考えるって大変だね。」

「九九を使えばいいんだね。それなら、できるよ。」

「僕は、九九は苦手だなあ。もう一度、しっかり覚えていかなきゃ。」



たしかめる

式をつくって計算しよう。

30このいちごを、5人で同じ数ずつ分けるよ。  
1人分は何こになるかな?

30 ÷ 5 = 5

1 2 3 4 5  
6 7 8 9 0

もどる ★3人で分ける★

「今日は、わり算を初めて学習しましたね。今日学習したことが自分のものになっているかどうかを確認するために、問題をやってみましょう。」

「よし、全問正解を目指してがんばるぞ。」

ハリオボタンをクリックして問題を見てみよう。

問題

30このいちごを、5人で同じ数ずつ分けるよ。  
1人分は何こになるかな?

30 ÷ 5 = 6

答え 6 こ

もどる ★3人で分ける★

まちがえた問題だけ  
もういちど

はじめから

「問題は全部で5問ですよ。正解したらハリオがほめてくれます。」

「あっ、間違ると右下のハリオの顔が悲しそうになってるよ。」

「全部の問題ができたなら、間違えた問題番号のハリオボタンをクリックして、もう一度よく見直しましょう。それから、**まちがえた問題だけもういちど**ボタンをクリックしてもう一度やり直してごらん。」

「パソコンが『やったね』『すごいな』って言ってくれるし、間違っても『残念、次はがんばろう』って言ってくれるから私もがんばれるわ。」

「全問正解した人は、**はじめから**ボタンをクリックしてもう一度挑戦してみてください。」

「僕は問題を解くのに少し時間がかかるけれど、パソコンは待っててくれるからいいよね。」

★わり算

3人で分けるをクリアしたよ!  
おめでとう!

もどる

「全問クリアした人には、この画面のようにハリオがおめでとうってほめてくれますよ。全問クリアを目指しましょう。」

「1問間違ってしまった。でも、間違えた問題だけもう一度やりなおすと、よく分かったよ。次は全問正解目指すぞ。」

「パソコンをクリアした人は、ワークシートにある問題に取り組みましょう。式の書き方にも気をつけてください。」

「やった。全問正解したぞ。もう一度挑戦してみよう。あれ、さっきと少し問題が違うよ。パソコンってすごいな。」

図1 ソフト起動画面



memo

---

---

---

---

---

---

---

---

図2 メインメニュー画面



図3 サブメニュー画面



「3人で分ける」  
みてみよう!

「3人で分ける」の「みてみよう!」では、お話を追いながら、わり算のしくみを学習できるようになっています(図4)。お話の節目では、→(すすむ)ボタンが黄色く点滅しますので、クリックしてシーンを進めてください。

図4



# 「3人で分ける」 問題

「問題」のコーナーで出題される問題は、1セットあたり5問です。答えは数字ボタンで入力します(図5)。ヒントボタンをクリックすると、考え方のヒントを教えてください(図6)。

図5 問題画面

式をつくって計算しよう。

8このケーキを、4人で同じ数ずつ分けるよ。  
1人分は何こになるかな？

$?$   $\div$   $?$   $=$   $?$

1 2 3 4 5  
6 7 8 9 0

もどる ★3人で分ける★ ヒント

図6 ヒント画面

式をつくって計算しよう。

8このケーキを、4人で同じ数ずつ分けるよ。  
1人分は何こになるかな？

ぜんぶの数      人数      1人分の数

$?$   $\div$   $?$   $=$   $?$

1 2 3 4 5  
6 7 8 9 0

もどる ★3人で分ける★ ヒント

図7 正解した時の画面

式をつくって計算しよう。

8このケーキを、4人で同じ数ずつ分けるよ。  
1人分は何こになるかな？

ぜんぶの数      人数      1人分の数

8  $\div$  4  $=$  2

答え 2 こ

1 2 3 4 5  
6 7 8 9 0

もどる ★3人で分ける★ ヒント

図8 不正解の時の画面

式をつくって計算しよう。

8このケーキを、4人で同じ数ずつ分けるよ。  
1人分は何こになるかな？

ぜんぶの数      人数      1人分の数

8  $\div$  4  $=$  ?

1 2 3 4 5  
6 7 8 9 0

もどる ★3人で分ける★ ヒント

図9 全問終了時の画面

●ハリオボタンをクリックして、問題を見よう。●

問題

24このどんぐりを、6人で同じ数ずつ分けるよ。  
1人分は何こになるかな？

24  $\div$  6  $=$  4

答え 4 こ

もどる ★3人で分ける★ まちがえた問題だけもういちど はじめから

memo

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

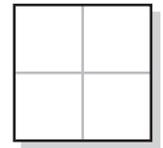
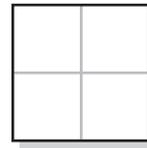
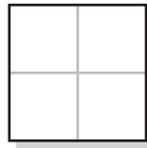
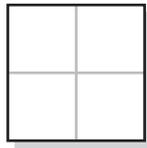
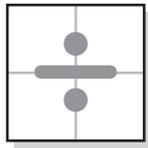
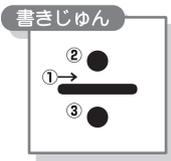
全問終了すると、(図9)の画面が表示され、ハリオボタンをクリックすると問題を確認できます。間違えた問題がある場合は、まちがえた問題だけもういちどボタンで再度挑戦できます。はじめからボタンをクリックすると、新しい問題に挑戦することができます。



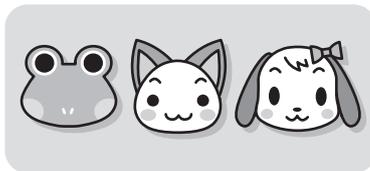
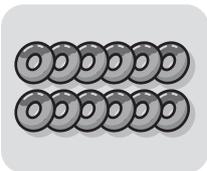
わり算について、まとめましょう。

○ 12このドーナツを、3人で同じ数ずつ分けると、1人分は  になります。このことを式で  と書き、「12わる3は4」と読みます。

▶ わり算の記号を練習しましょう。



○ わり算では、



12

÷

3

=

4

ぜんぶの数

人数

1人分の数




といいます。

○ 12÷3の答えは、3×■=12の■にあてはまる数です。

わり算の答えは、わる数の  を使ってもとめることができます。



わり算のしくみがわかったかな？



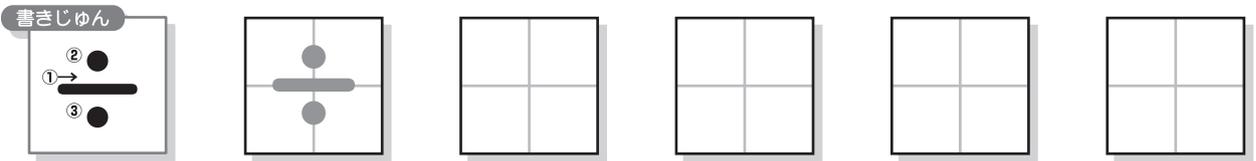
わり算について、まとめましょう。

○ 12このドーナツを、3人で同じ数ずつ分けると、1人分は **4** 人に

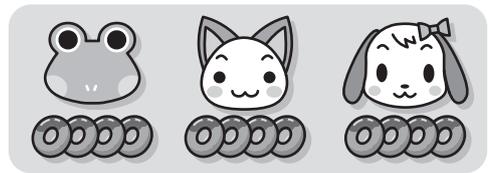
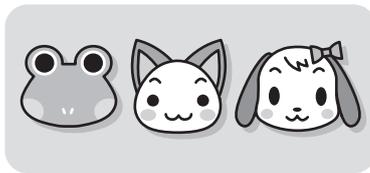
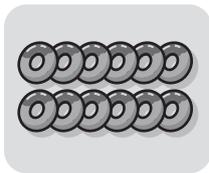
なります。このことを式で  **$12 \div 3 = 4$**  と書き、

「12わる3は4」と読みます。

▶ わり算の記号を練習しましょう。



○ わり算では、



**12**

**÷**

**3**

**=**

**4**

ぜんぶの数

人数

1人分の数

**わられる数**

**わる数**

**答え**

といえます。

○  $12 \div 3$ の答えは、 $3 \times \blacksquare = 12$ の $\blacksquare$ にあてはまる数です。

わり算の答えは、わる数の **九九** を使ってもとめることができます。



わり算のしくみがわかったかな？



式をつくって、計算しましょう。

- ① 8このケーキを、4人で同じ数ずつ分けます。1人分は何個になりますか。



(式)

答え

- ② 12本のえんぴつを、2人で同じ数ずつ分けます。1人分は何本になりますか。



(式)

答え

- ③ 21本の花を、3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何本になりますか。



(式)

答え

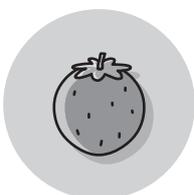
- ④ 24このどんぐりを、6人で同じ数ずつ分けます。1人分は何個になりますか。



(式)

答え

- ⑤ 30このいちごを、5人で同じ数ずつ分けます。1人分は何個になりますか。



(式)

答え



式をつくって、計算しましょう。

- ① 8このケーキを、4人で同じ数ずつ分けます。1人分は何こになりますか。



(式)  $8 \div 4 = 2$

答え 2こ

- ② 12本のえんぴつを、2人で同じ数ずつ分けます。1人分は何本になりますか。



(式)  $12 \div 2 = 6$

答え 6本

- ③ 21本の花を、3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何本になりますか。



(式)  $21 \div 3 = 7$

答え 7本

- ④ 24このどんぐりを、6人で同じ数ずつ分けます。1人分は何こになりますか。



(式)  $24 \div 6 = 4$

答え 4こ

- ⑤ 30このいちごを、5人で同じ数ずつ分けます。1人分は何こになりますか。



(式)  $30 \div 5 = 6$

答え 6こ